

長野県特別支援学校整備基本方針（概要版）

長野県教育委員会

これからの特別支援学校の学びのあり方と環境整備についての基本的な考え方

1 基本理念

(1) 特別支援教育の進め方

本人・保護者の意向を最大限尊重した適切な学びの場で、個々のニーズに応じた教育の提供とインクルーシブな教育の推進

(2) 特別支援学校で実現すべき学びの姿

○ 児童生徒の可能性が最大限伸びる学び

今日に満足し明日を楽しみに待つ学校生活、満足感と成就感、長所の伸長 等

○ 共生社会の実現に向けた協働の学び

同じ地域の同世代の仲間との日常的な交流、地域や企業の方等との学び合い 等



2 学びの改革

(1) 特別支援学校における学びの充実

① 可能性が最大限伸びる学び

- 時代や社会の変化に対応した教育課程の編成
- ニーズに応じた効果的な個別・小集団学習の導入
- ICT 機器や Wi-Fi 環境を活用した授業 等

② 共生社会の実現に向けた協働の学び

- 副学籍制度を活用した交流学习等の推進
- 企業や福祉施設等と連携した進路支援 等

③ 多様な教育的ニーズに対応する専門性の向上

- 勤務年数や希望分野に応じた研修体系の構築
- 各校に「専門性サポートチーム」を組織 等



(2) 身近な地域での学びの充実

① 小・中学校等における特別支援教育の充実

- 小・中学校の特別支援教育に関する対応力向上
- 特別支援学校のセンター的機能の強化

② 分教室の設置推進

- 遠距離通学負担解消等のため地元の学校の空き教室を活用した小・中学部分教室の設置推進 等

③ サテライト教室の設置推進

- 知的障がい特別支援学校への盲学校等のサテライト教室の設置推進

④ 市町村立特別支援学校の設立推進



3 学びの改革を支える環境整備

(1) 教育環境の改善

① 可能性が最大限伸びる学びを支える教育環境

- 児童生徒数に応じた必要な教室数の確保
- 多様な教育的ニーズに対応できる教室等の整備 等

② 協働の学びを支える教育環境

- フレキシブルな活用が可能な作業室の整備
- 小・中学校等や地域の方々と日常的な交流や共同学習等が可能な交流ゾーンの整備 等

③ 安全・安心で快適な教育環境

- 多様な児童生徒等を包み込むユニバーサルデザイン化
- クールダウンスペースや談話室等の整備 等



(2) 施設整備の考え方

① 長寿命化・改築の考え方

- ファシリティマネジメント計画を踏まえた利活用

② 整備の進め方

- 建築年数や学びの環境としての適性を考慮し、必要性の高い学校から順次整備
- 国の「特別支援学校設置基準」策定の動向を注視

③ 施設整備の配慮点

- ゼロカーボン化の推進
- 地域の公共施設等との連携や機能の分担
- 災害時の避難施設としての活用等の対応



4 特別支援学校の配置

(1) 知的障がい特別支援学校は各圏域に最低 1 校配置

(2) 盲・ろう・肢体不自由・病弱の特別支援学校は、東北信と中南信に各 1 校配置



5 その他

(1) 校名 「養護学校」は変更を視野に検討

「盲・ろう学校」は変更の是非を含めて検討

(2) 寄宿舎 「通学保障」「家庭支援」「社会的自立」を支えるための機能向上とあり方検討

